学校番号	４０７

平成３１年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書道Ⅲ」　（教育図書）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■書道Ⅰ・Ⅱで習得した技法を基礎にして、鑑賞作品を制作しましょう。
■書道Ⅰ・Ⅱで培った集中力をさらに高め、自己実現に努めましょう。
■自主性を育て、自分で考えて行動できるようにしましょう。
■学習を通して、人間性を高めましょう。

２　学習の到達目標

・書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情をさらに高める。
・感性を高め、表現と鑑賞の能力を高める。
・芸術鑑賞を通して、美意識を高め、審美眼を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	・観察 ・発問に対する答え方 ・ノートのまとめ方 ・制作する際の構想力	・観察 ・添削時の発問に対する答え方 ・提出作品 ・作品の構成力	・観察 ・提出作品 ・完成までの錬度	・観察 ・他者の作品に対する評価 ・提出作品 ・ノート ・芸術鑑賞レポートの質と量

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
Ⅰ		・オリエンテーション	○				書道教室の使い方、用具用材の正しい使い方、授業への取り組み方、挨拶と返事の習慣化	・発問に対する答え方 ・ノートのまとめ方
	鑑賞作品の制作	臨書作品の大作制作	○	○			a:自主的な制作意図を有している。 b:作品の形式を生かした構成ができている。 c:添削を通して、作品の完成度を高めている。 d:鑑賞力を発揮し、完成度を高めている。	・観察 ・添削時の発問に対する答え方 ・提出作品 ・互評を通した鑑賞力
	創作作品の制作	創作作品の大作制作 ・少字数 ・多字数		○	○		a:自主的な制作意図を有している。 b:作品の形式を生かした構成ができている。 c:添削を通して、作品の完成度を高めている。 d:鑑賞力を発揮し、完成度を高めている。	・観察 ・添削時の発問に対する答え方 ・提出作品 ・互評を通した鑑賞力
Ⅱ	鑑賞作品制作・仮名作品の学習	創作作品の大作制作の続き マクリの作品の表具 鑑賞作品の完成 仮名の古筆の臨書		○	○		a:仮名の基本練習をする。 古筆を鑑賞し、臨書対象を決めている。 b:古筆の特徴を理解している。 c:添削を通して、作品の完成度を高めている。 d:鑑賞力を発揮し、完成度を高めている。	・観察 ・添削時の発問に対する答え方 ・提出作品 ・互評を通した鑑賞力
Ⅲ	卒業に向けての鑑賞作品制作	仮名鑑賞作品の制作 卒業に向けての学内展示		○	○	○	a:仮名の美を理解する。 b:指示をよく聞き、丁寧に取り組んでいる。 c:仮名筆による自由作品制作 d:鑑賞作品として、発表する。	・観察 ・添削時の発問に対する答え方 ・提出作品 ・ノート